

領土・主権展示館 企画展

日本のかたちをかく

地図・海図編纂にみる 領土・海洋認識の変遷

2024
2月6日(火)
4月14日(日)

入場無料

【会場】領土・主権展示館 【開館時間】10:00-18:00

【休館日】月曜日(ただし、2/12(月・祝)は開館)、2/13(火)、3/3(日)

【所在地】東京都千代田区霞が関3-8-1 【電話番号】03-6257-3715

@ryodoshuken <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>

内閣官房 領土・主権 対策企画調整室

領土・主権展示館 NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

上から：伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 大塚寛『近世日本海図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年)



領土・主権展示館 企画展

日本のかたちをかく



【会場】領土・主権展示館 【開館時間】10:00-18:00

【休館日】月曜日(ただし、2/12(月・祝)は開館)、2/13(火)、3/3(日)

【所在地】東京都千代田区霞が関3-8-1 【電話番号】03-6257-3715

@ryodoshuken <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>

内閣官房 領土・主権 対策企画調整室

領土・主権展示館 NATIONAL MUSEUM OF TERRITORY AND SOVEREIGNTY

上から：伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 大塚寛『近世日本海図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年) / 伊能忠敬『改正日本輿地路程全図』(1879年)

第一章

長久保赤水「改正日本輿地路程全図 初版」(1780年)
所蔵：高萩市歴史民俗資料館

交通のご案内

- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」3番出口より徒歩1分
- 東京メトロ 日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」A2出口より徒歩5分
- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」A13出口より徒歩5分

領土・主権展示館
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1
tel: 03-6257-3715
ホームページ: <https://www.cas.go.jp/jp/ryodo/tenjikan>

領土・主権展示館企画展

「日本の「かたち」を描く

— 地図・海図編纂にみる領土・海洋認識の変遷 — (見どころ)

1 英国海図に参照された赤水図と伊能図

19世紀、英国海軍水路部は、欧米海事国間の海図情報の共有化を提唱し、主要海事国の賛同を得てこれを推進。世界の海図刊行をリード。日本周辺を扱った最初の本格的な英国海図である2347号には、長久保赤水と伊能忠敬の伊能図の知見が活かされている。

赤水図

所蔵：高萩市歴史民俗資料館
長久保赤水「改正日本輿地路程全図」※
※画像は初版(1779年完成)

クルーゼンシュテルンは、赤水図の地図投影法や経緯度表示を研究。赤水図は、「日本帝国図」の日本列島の骨格を示す図として採用される。※

所蔵：近畿大学中央図書館
アーダム・クルーゼンシュテルン「日本帝国図」(1827年)※
※画像の地図は、1835年の修正版

英国海図 2347号

英国海図2347号「日本：本州・九州・四国・朝鮮海岸の一部」(1855年)

所蔵：山口県文書館 毛利家文庫

英国海図2347号「日本：本州・九州・四国・朝鮮海岸の一部」(1862年修正版)

所蔵：山口県文書館 毛利家文庫

英国海図2347号「日本：本州・九州・四国・朝鮮の一部」(1863年改訂版)

所蔵：国土地理院 72.3×78.4cm

伊能図

所蔵：英国国立公文書館
165×184 cm (北海道)
260×165 cm (東日本)
212×164 cm (西日本)

「伊能忠敬史料館」から許可を得て転載
(https://www.inopedia.tokyo/02dataRm/inoh-map-room/index_government_Greenwich.html)

「英国伊能小図」

江戸幕府が英国海軍に提供した「英国伊能小図」を参照して英国海図2347号は改訂される。

伊能図が英国海図2347号の改善に寄与したことは有名ですが、そもそもその英国海図2347号が赤水図に由来することはあまり知られていない。これが今回の展示のポイントの一つです。この企画展では赤水図の紹介にあわせて、大阪大学の小林茂名誉教授や甲南大学の鳴海邦臣教授の研究をもとに、赤水図がクルーゼンシュテルンの日本地図の日本の骨格を示す図を採用されており、このクルーゼンシュテルンの日本地図が英国海図2347号の主たる原因となっていることが紹介されています。

江戸幕府がイギリス海軍に伊能図を渡したのは、文久元年(1861)といわれています。その半世紀以上も前の鎖国の日本から海を渡った赤水図は、日本地図の日本の骨格を示す図として採用されていたこととなります。

勝海舟が翻訳。

勝海舟「大日本国沿海略図」(1867年)